

絵本作家、イラストレーター土橋とし子の作品展「土橋とし子展 我楽多画譚」を開催します。

土橋は 1960 年和歌山県生まれ。関西で学生生活とデザイン事務所のアシスタントを務めたのち、東京でイラストレーター、絵本作家として第一線で活躍してきました。

その画風は独特で、「土橋さんの絵は一度見たら忘れられません」と、漫画家さくらももこが土橋の著作『オリオン画報』（1992 年 新潮社）に帯文を寄せるほど、強い個性を放っています。

展覧会では、奈良がテーマのイラストエッセイや、絵本『ひょうたんハウス』、『アオッチとキーコ ひみつきちにいく』（いずれも福音館書店）に登場した自作の人形たち、毎日新聞日曜版で約 7 年連載した『お茶の時間』（2006.10～2013.3）の一挙公開、あまた手がけた単行本の挿画（プリント）など、40 年近い作家生活を俯瞰します。



(左)『おちゃのじかん』(2013 年 佼正出版社)  
/(右上)『ありのあちち』(1996 年 福音館書店)  
/(右下)『極楽さん』(1997 年 晶文社)



**土橋民藝店**  
**11.5 Sat. 6 Sun. 19 Sat. 20 Sun.**  
各日 12:00～16:00 展覧会場内にて  
絵本、ポストカード、2023年ツッチーカレンダー、自主制作本、オリジナルグッズなどなど。  
お買い上げの本にはサインいたします。

**奈良県立図書情報館**  
Nara Prefectural Library & Information Center  
〒630-8135  
奈良市大安寺西 1 丁目 1000 番地  
TEL / 0742-34-2111 FAX / 0742-34-2777  
<https://www.library.pref.nara.jp>



※新型コロナウイルス感染拡大防止などのため、事前告知内容を変更する場合があります。来館前に最新情報をご確認ください。

**土橋とし子** Toshiko TSUCHIHASHI 絵本作家、イラストレーター

- 1960 年 和歌山県生まれ
- 1980 年 浪速短期大学（現・大阪芸術大学短期大学部）デザイン美術科卒業。卒業制作で絵本をつくる。デザイン事務所のアシスタントとして働き始める。  
デザイン仕事の合間に『プレイガイドジャーナル』や『満金超』に少しずつイラストを描き始める。
- 1984 年 カレンダー、オリオン画報の元となる絵と短い文的なもの、手書き個人新聞を作り始める。カレンダー作りは今も続き、手書き新聞も展覧会のときなどに不定期で発行、ライフワークとなっている。  
季刊コミックアゲイン創刊第 2 号にて、『夢の夢』で漫画家デビュー。
- 1985 年 フリーのイラストレーターとして、東京で仕事を始める。  
青林堂の長井勝一さんに作品を見てもらう。ガロ 12 月号で『ふくろのおっちゃん』が、入選作品として掲載される。
- 1989 年 さくらももこさんから手紙をもらう。この時点では、『ちびまる子ちゃん』に自分の名前のキャラクターがいることは知らなかった。  
その後、雑誌『MOE』連載時に、さくらさんが大好きだったと話してくれた『オリオン画報』（1992 年刊）出版の際に、帯にコメントを書いてもらう。
- 1991 年 念願だった初めての絵本『かぼちゃばたけ』（福音館書店・こどものとも年少版）で、片山令子さんの文に絵を描く。
- 1992 年 ある日突然、グラフィックデザイナー・亀倉雄策さんから「家の中の絵を全部持って事務所に来るように」と電話がかかってくる。  
『CREATION 13 号』に作品が掲載される。
- 1993 年 かねてよりファンだったスピッツ（ミュージシャン）の会報『Spitzbergen』vol. 7 ～ vol.13 まで、4 コマ漫画『スピッツくん』を連載する。  
『思想の科学』にて月刊手書き新聞『おやつの時間』を 1996 年まで 40 回を発行する。
- 1997 年 地方紙新聞連載小説『ヤマダ一家の辛抱』群ようこさんの挿絵を担当する。  
初めてのエッセイ集、子ども時代から上京までを書いた『極楽さん』（晶文社）が出版される。
- 1999 年 15 年住んだ東京から引っ越し、奈良県民になる。
- 2004 年 朝日新聞夕刊連載小説『かわうその祭り』出久根達郎さんの挿絵を担当する。
- 2006 年 10 月 1 日より毎日新聞日曜版にて『お茶の時間』の連載が始まる。2013 年 3 月まで続く。
- 2009 年 金沢 21 世紀美術館開館 5 周年記念展『愛についての 100 の物語』参加する。
- 2015 年 青森県立美術館『化け物展』参加する。
- 2016 年 地方紙新聞連載小説『ことことこーこ』阿川佐和子さんの挿絵を担当する。
- 2020 年 関西での五度目の引っ越しで、二度目の奈良県民になる。

主な著作

- 『オリオン画報』（1992 年 新潮社）、『食べ物づくりで遊ぼう』（共著、1993 年 晶文社）
- 『よいこの玉手箱』（1994 年 チャンネルゼロ）、『極楽さん』（1997 年 晶文社）
- 『中国的民間健康術』（共著、2008 年 バジリコ）

絵本

- 『かぼちゃばたけ』（共著、1991 年 福音館書店）、『おとうさんの玉手箱』（共著、1994 年 ほるぷ出版）
- 『もののずかん』（1996 年 福音館書店）、『ありのあちち』（1996 年 福音館書店）
- 『切っても切ってもブラナリア』（共著、1996 年 岩波書店）
- 『ゆうきのおにたいじ』（共著、1997 年 福音館書店）、『めっちゃくちゃんすばん』（1999 年 福音館書店）
- 『ダイコンの絵本』（共著、2000 年 農文協）、『ありのあわわ』（2002 年 福音館書店）
- 『ニガウリの絵本』（共著、2003 年 農文協）、『ムッシーげきじょう』（2004 年 教育画劇）
- 『ひょうたんハウス』（2004 年 福音館書店）、『にぎにぎ』（共著、2004 年 PHP 研究所）
- 『竹細工の絵本』（共著、2006 年 農文協）、『キャベツ めキャベツ』（共著、2007 年 福音館書店）
- 『箸の絵本』（共著、2008 年 農文協）、『なにわくしんぼうくらぶ』（2010 年 理論社）
- 『おちゃのじかん』（2013 年 佼正出版社）、『おみまい』（2016 年 福音館書店）
- 『アオッチとキーコ ひみつきちにいく』（2016 年 福音館書店）
- 『ひふみよかぞえたう』（2020 年 福音館書店）

Instagram: @55tsucchy    Instagram: @tsucchy\_frogs    Twitter: @tsucchy\_info  
[blog.livedoor.jp/gogotsucchy/](http://blog.livedoor.jp/gogotsucchy/)

【近鉄奈良駅より】奈良交通バス停（8 番のりば）から  
「県立図書情報館行き（22 系統）」に乗りし終点。所要時間約 25 分。

【JR 奈良駅より】奈良交通バス停（JR 奈良駅東口バス停 6 番のりば）から  
「県立図書情報館行き（22 系統）」に乗りし、終点。所要時間約 20 分。

【近鉄新大宮駅より】駅南口バス停から「四条大路南町行き（8 系統）」に  
乗りし、県立図書情報館西口下車。徒歩 5 分。所要時間約 15 分。

【自家用車利用】国道 24 号の柏木町交差点を東に折れ、  
一つ目の信号を左折。約 700 メートル先の左手側。  
駐車スペース：普通車 311 台。駐車料金は 1 時間までは無料、  
以降 1 時間ごとに ¥100。

